

防災・減災に関するアンケート調査の集計結果

この度は「防災・減災に関するアンケート」にご協力頂き誠にありがとうございました。
早速ですが、下記にて調査結果をご報告します。

調査の目的 : 正月に発生した震災に当り、自治会組合員の災害時の認識や
防災・減災対策を調査して今後の防災活動やイベントに活かす為

調査の対象 : 当自治会組合員の全世帯が対象

調査の方法 : 全世帯へのアンケート用紙配布と各班長経由の各組評議員回収による調査

調査の結果 : 回答世帯数 570世帯 (全世帯数 1,047世帯) 回答率 54.4%

所感 : 高い回答率となったのはやはり能登半島地震への関心の高さであると思います。
災害はいつやってくるか分かりません。これからも災害へ関心を持ち続け下さい。
また、広域避難場所と避難所は多くの方に周知されているようですがそれぞれの
違いを確認して頂き、いざと云う時に最善の避難をして頂きたいと思ひます。

○ アンケート集計結果

1 年齢

20～30代	40代	50代	60代	70代	80代～	不明	合計
51	88	93	98	134	104	2	570
9%	15%	16%	17%	24%	18%	0%	
男性	女性	不明	合計				
201	365	4	570				
35%	64%	1%					

地震が起きた時のリスクとして

- 家屋の倒壊や家具の転倒
- 沿岸部は津波、内陸部は急傾斜地の崩壊
- 家屋の密集地は火災の延焼拡大
があります。

当自治会エリアにおいて、一番考えられるリスクは火災の延焼拡大です。

木造家屋が密集し、狭い道路が多いため火災が周辺家屋へ拡大します。

地震が起きた時は、先ず「広域避難場所」へ避難、その後火災の危険が無くなってから
自宅へ戻る若しくは「避難所」へ避難する事が最善です。

2 広域避難場所は何処か知ってますか？

知ってる	知らない	不明	合計
477	92	1	570
84%	16%	0%	

3 避難所は何処に開設するか知ってますか？

知ってる	知らない	不明	合計
378	187	5	570
66%	33%	1%	

当自治会エリアに近い「広域避難場所」は赤羽根中学校と湘南カントリークラブゴルフ場です。

次に「避難所」は小和田小学校です。小和田小学校は周辺家屋との距離が近い事から
直ぐには避難は出来ませんので気を付けて下さい。

4 感震ブレーカーを知ってますか？

知ってる	知らない	合計
412	158	570
72%	28%	

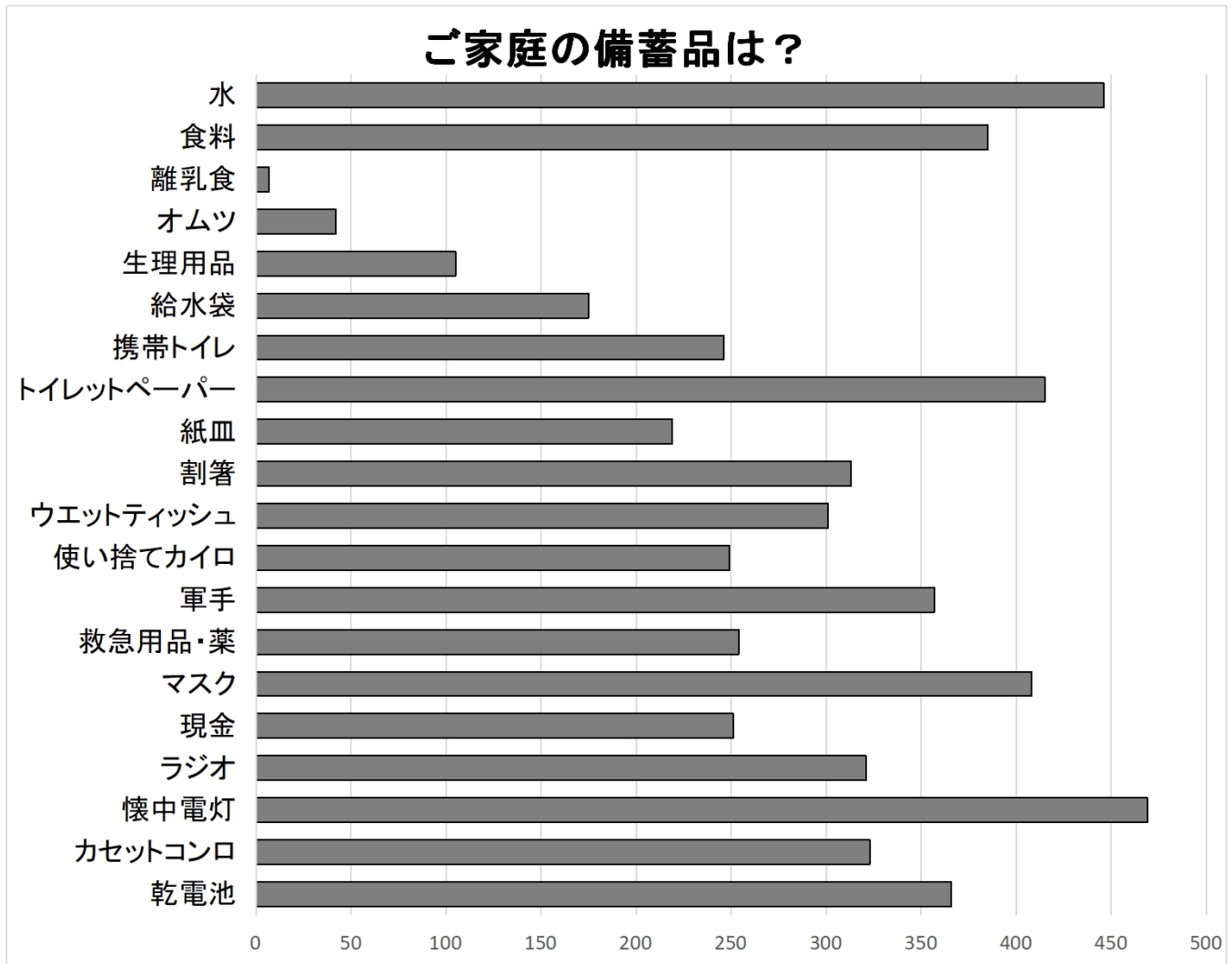
5 感震ブレーカーを設置していますか？

設置している	設置していない	不明	合計
99	334	137	570
17%	59%	24%	

地震による火災の過半数は電気が原因、地震の揺れに伴う機器からの出火や停電が復旧した時に
発生する火災です。地震の揺れで自動的に電気を遮断出来る感震ブレーカーは有効な対策です。

6日頃ご家庭で備えている備蓄品は？

水	食料	離乳食	オムツ	生理用品	給水袋	携帯トイレ
446	385	7	42	105	175	246
トイレットペーパー	紙皿	割箸	ウエットティッシュ	使い捨てカイロ	軍手	救急用品・薬
415	219	313	301	249	357	254
マスク	現金	ラジオ	懐中電灯	カセットコンロ	乾電池	
408	251	321	469	323	366	



災害発生からライフラインの復旧には最低1週間程度は必要と言われています

- 食品備蓄は最低3日、出来れば1週間分の備蓄が望ましい
- 1日に必要な飲料水は1人当り3Lが目安の備蓄が望ましい
- 1日に1人当り5回程度の排泄が目安、携帯トイレ(簡易トイレ)の備蓄が望ましい

皆さんの家庭の備蓄は如何ですか？